

週報



天一国 9 年 2021 年

年頭總結

創造主、天の父母様に似た、
真の愛を実践する天一国の真の主人になろう

VISION

為に生きる幸せな家庭
地域と共にある教会
国家と世界に貢献する家庭連合

活動指針

1. 孝情文化の拡大を通じた青年伝道の活性化
2. 原理教育の強化と43家庭の実勢化
3. 為に生きる幸せな家庭づくりと世帯伝道
4. 地域づくりを通じた国づくり
5. 母の国の使命完遂と父の国との一体化

© 2021 WORLD PEACE and UNIFICATION



世界平和統一家庭連合

FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

加賀家庭教会

KAGA FAMILY CHURCH

教会長：我那覇真

御父母様の悲しみと痛みを 慰勞し差し上げる子女となりましょう！

● 15歳になった年の復活節(イースター)を迎える週でした。その日も、いつもと同じように近くの猫頭山に登って、夜を徹して祈りながら、神様に涙ですがりつきました。なにゆえにこのように悲しみと絶望に満ちた世界をつくられたのか、全知全能の神がなぜこの世界を痛みの中に放置しておられるのか、悲惨な祖国のために私は何をしなければならないのか。私は涙を流して何度も何度も神様に尋ねました。

● 祈りでずっと夜を過ごした後、明け方になって、イエス様が私の前に現れました。風のように忽然と現れたイエス様は、

「苦しんでいる人類のゆえに、神様はあまりにも悲しんでおられます。地上で天のみ旨に対する特別な使命を果たしなさい」と語られたのです。

その日、私は悲しい顔のイエス様をはっきり見、その声をはっきりと聞きました。イエス様が現れた時、私の体はヤマアラシの木が震えるように激しく震えました。

● その場で今すぐ死んでしまうのではないかと思われるほどの恐れ、そして胸が張り裂けるような感激が一度に襲いました。イエス様は、私がやるべきことをはっきりとお話になりました。苦しんでいる人類を救い、神様を喜ばしてさしあげなさい。という驚くべきみ言でした。

「私にはできません。どうやってそれをするのでしょうか。そんなにも重大な任務を私に下されるのですか」

本当に恐ろしくてたまらず、何とか辞退しようとして、私はイエス様の服の裾をつかんで泣き続けました。 アージュ!

お父様の自叙伝 P62-63

